

住民力の強化による安全安心なまちづくり新潟モデル骨子

《本調査による安全安心まちづくりの検討フレーム》

調査課題

- 安全安心なまちづくりへの取組みが必要
 - 震災等の自然災害が発生した地域における経験や知見の共有化、防災まちづくりの推進
 - 若年層の犯罪増加、身近な犯罪被害への危機感、防犯まちづくりの推進
 - 地域とスムーズに連携するための行政力の強化
- 「住民力」の強化が必要
 - 住民ひとりひとりが、自らの課題として地域社会の安全安心を考える力を地域全体で底上げすることが必要
 - 災害時に円滑に対応するためには、日常から自助・共助の意識や取組みを醸成する「住民力」の強化が必要
 - 「安全安心社会」の最も重要な基盤となるのは「人と人が助け合い、支え合うコミュニティ」であり、特に、コミュニティの力が果たす役割は非常に重要
 - 情報を受発信する力の向上

検討内容

- 犠牲者ゼロに向けて住民力が求められる状況等
 <ある災害を想定した場合の例>
- 発生直前
 - 予知・警報情報の受信・認知
 - 適切な避難行動
 - 発生時
 - 適切な回避行動
 - 発生数分後
 - 適切な避難行動・避難誘導
 - 適切な携行物
 - 安否確認
 - 要保護者の救出
 - 発生数時間後
 - 怪我の手当て
 - 継続的な消火・救助等の活動
 - 安否連絡
 - 発生数日後
 - 避難所等の運営
 - 災害に対応するコミュニティの形成
 - 災害関連情報の受発信

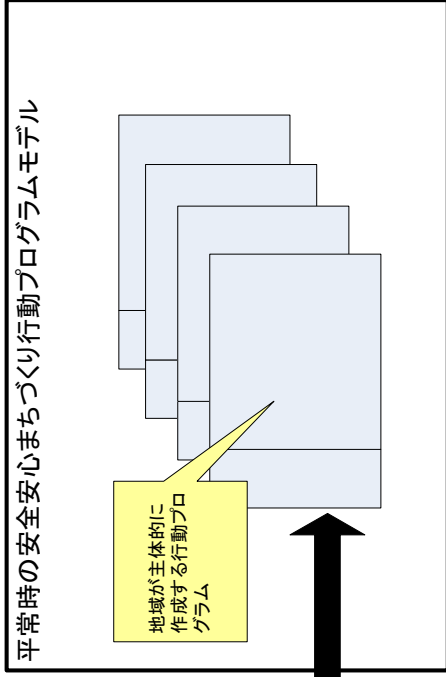
- 「住民力」を高めるための平常時の取組み
- 多世代の参加を促進するための取組み
 - 多様な主体の参加を促進するための取組み
 - 情報共有・受発信力の強化を意図した取組み
 - リーダー育成のための取組み
 - 要保護者支援を意図した取組み
 - 持続的な活動としていくための取組み
 - 資金調達のための取組み
 - ...
 - など

- 新潟市における現状
- 市民アンケート調査
 - 地域の取組み
 - 行政の取組み
- 参考となる先進事例
- 優れた地域活動の収集整理

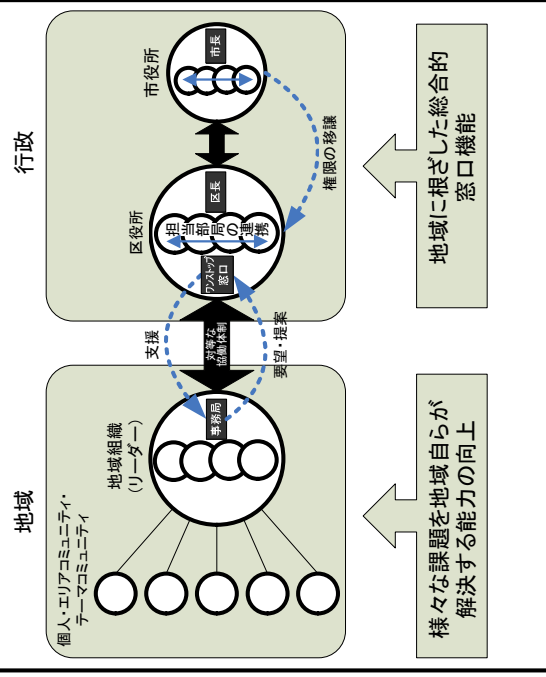
- 「住民力」強化に資する行政支援のあり方
- わかりやすい情報提供のあり方
 - リスケマップの作成
 - 適切な周知
 - 活動場所の提供のあり方
 - 学校などハブリソースの活用
 - 組織づくり・運用のあり方

社会実験（ワークショップ）

調査のアウトプットイメージ



地域と行政の協働体制のあり方



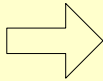
様々な課題を地域自らが解決する能力の向上

《住民力の強化による安全安心なまちづくりプログラムの考え方》

(地震災害を想定した例)

【地震発生後の被災シナリオ】

平常時(日常)



地震発生(非日常)

建物被害	老朽化建物の倒壊 建物内部の家具の転倒や天井落下 建物外壁材やブロック塀の落下・転倒
火災発生	ストーブ等の器具による出火 木造密集地における延焼拡大 火災発生による避難路の途絶
人的被害	家屋の倒壊による圧死や負傷者の発生 火災等による2次被害の発生 高齢者、外国人などの犠牲者の発生
ライフライン	地域全体が停電 液状化による上下水道の遮断 ガスの供給停止
通信被害	家族の安否の確認不可 基地局の被災により携帯電話が不通 災害関連情報の入手が困難・風評の流布
避難行動	帰宅困難者の発生 避難時の自動車利用による交通渋滞の発生 防災拠点への避難者の殺到
救出救助	警察・消防・自衛隊等の支援の遅滞化 資機材不足による救出活動困難 知識不足による応急手当等の実施困難 要援護者情報の不周による支援困難 時間経過に依る生存確率の低下
避難生活	多くの避難者により、避難所が過密状態 断水による・水不足・トイレの問題が深刻化 要援護者の避難所生活の問題が深刻化

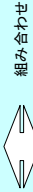
【犠牲者をゼロにするための主な対応内容】

【住民ひとり一人】	【地域】	【企業等】	【行政】
地域のつながり(防災)をテーマとした地域コミュニティの形成・情勢			コミュニティ活動支援
災害リスクの学習	防災教育・意識啓発		防災教育・意識啓発
身の安全確保の方法の学習	防災教育・意識啓発		防災教育・意識啓発
建物の耐震補強の実施	建物の耐震補強の奨励		避難所の耐震化
家具の転倒・落下防止の対策	家具の転倒・落下防止の対策		支援
建物外壁材やブロック塀の補強・生垣化	建物外壁材やブロック塀の補強・生垣化		支援
地震直後の対応方法の認識	地震直後の対応方法の認識		支援
消火器の設置、消火器の使用方法の認識	消火器の設置、消火器の使用方法の認識		支援
建物の不燃化、消火栓の確認、軽可搬ポンプ等による消火訓練	建物の不燃化、消火栓の確認、軽可搬ポンプ等による消火訓練		支援
建物の耐震補強・家具転倒防止器具の設置	建物の耐震補強・家具転倒防止器具の設置		支援
初期消火や人命救助に関する訓練の実施	初期消火や人命救助に関する訓練の実施		支援
災害時要援護者が災害時に困るのを把握、支援の実施	災害時要援護者が災害時に困るのを把握、支援の実施		支援
備蓄品の準備(最低3日分)	備蓄品の準備		インフラの防災性能の強化 備蓄品の準備
家族との連絡方法の確認	家族との連絡方法の確認		マスキングの活用 情報提供能力の向上
近所や地域における情報収集・伝達方法の整備・強化	近所や地域における情報収集・伝達方法の整備・強化		支援
帰宅困難者の発生	帰宅困難者の発生		支援
避難時の自動車利用による交通渋滞の発生	避難時の自動車利用による交通渋滞の発生		支援
防災拠点への避難者の殺到	防災拠点への避難者の殺到		支援
警察・消防・自衛隊等の支援の遅滞化	警察・消防・自衛隊等の支援の遅滞化		支援
資機材不足による救出活動困難	資機材不足による救出活動困難		支援
知識不足による応急手当等の実施困難	知識不足による応急手当等の実施困難		支援
要援護者情報の不周による支援困難	要援護者情報の不周による支援困難		支援
時間経過に依る生存確率の低下	時間経過に依る生存確率の低下		支援
多くの避難者により、避難所が過密状態	多くの避難者により、避難所が過密状態		支援
断水による・水不足・トイレの問題が深刻化	断水による・水不足・トイレの問題が深刻化		支援
要援護者の避難所生活の問題が深刻化	要援護者の避難所生活の問題が深刻化		支援

【プログラムの例】

<コミュニティの活性化>

- 人の顔を知り、地域の絆を深めることを目的とした取組み
 - 祭、文化祭、運動会、課外活動、こみ清掃活動
 - 世代間交流(地域文化の伝承)、こみ清掃活動
 - あいさつ、声かけ運動による交流活性化
 - 語学交流会(異文化コミュニケーション)
 - ハザー(フリーマーケット)での交流
 - 空き店舗や空家の活用によるにぎわいの創出
 - 地域コンテストによる地域間交流
 - 一戸一灯運動による地域の一体化
 - 自慢マップの作成による地域の誇り、愛着の醸成
 - 社会見学、工場見学、農業研修などの地域学習



組み合わせ

<防災対応力の向上>

- 災害リスクの認識向上を目的とした取組み

- 防災・防犯出前講座
- 防災まちあるき
- 防犯ハトール
- 地域防災マップの作成

- 適切な避難行動の把握を目的とした取組み

- 避難訓練、歩行での帰宅訓練、土曜作り訓練
- 記震車体験
- 降雨体験、浸水状況下での歩行体験

- 避難生活のイメージ向上を目的とした取組み

- 避難所での生活体験、キャンプ、手煮会
- 保存食の調理教室
- 仮設トイレや簡易トイレの体験
- 浄水用品の体験

- 家族との連絡方法の確認を目的とした取組み

- 災害伝言ダイヤル体験
- 家族防災メモの作成

- 連絡体制の強化を目的とした取組み

- 地域伝言ゲーム、地域SNS構築
- ローカルメディア内での番組作成

- 要援護者対応を目的とした取組み

- 要援護者体験、支援体験
- 地域なかよしマップの作成

- 救出・救助体制の確保を目的とした取組み

- 資機材の把握とその活用工夫
- 資機材の活用訓練、消火訓練

- 応急救護の能力の向上を目的とした取組み

- 担架リレー
- 応急救護訓練(AED等)

《住民力の強化による安全安心なまちづくりモデル》

【住民力を高めるための取組みの視点】

◆多世代の参加を促進するための取組み

活発な世代間交流を前提とした、地域での新しいライフスタイルの創出を図るために、「学生」や「主婦」、「高齢者」等を相互に結びつける機会の創出

例) 高齢者による地域の子育て支援により、主婦の社会活動への参加可能性の向上と高齢者の生き甲斐の創出 等

◆多様な主体の参加を促進するための取組み

個と地域の連携や地域活動の主体同士の連携の強化を図るために、「自治会」、「自主防災組織」、「市民団体」、「サークル」等の地域活動への気鋭な参画の支援や各活動主体が連携できる機会の創出

例) 複数団体が合同・協力して同じイベントを運営するなどの連携を支援するコーディネート機能の設置 等

◆情報共有・受発信力を強化した取組み

ニーズの高い地域情報を住民に伝わりやすくするために、行政を含む地域での活動に関する情報提供機能の強化・充実による情報コミュニケーションの強化

例) 地域SNSやご近所同士のメール・リストの開設など、地域が受発信できる情報交換の場やリアルづくりの推進 等

◆リーダー育成・交流のための取組み

地域住民が主体となって地域マネジメントを円滑に進めるために、牽引役となる新たな地域リーダーの育成や、リーダー同士の交流を通じた住民のマネジメント能力の向上

例) フアンリテーター養成講座による専門知識の取得支援や、リーダー研修会の実施による研鑽の支援 等

◆要援護者支援を意図した取組み

災害発生時に、地域で助けられる要援護者を増加させるために、地域における要援護者情報の共有や、要援護者の地域活動への参画の支援

例) 在住外国人による外国語講座や、要援護者を含む地域住民が主体となったお祭りの開催などによる交流 等

◆持続的な活動としていくための取組み

地域による安全安心なまちづくり活動の持続性を高めるために、地域住民のやる気を存続させ、向上させる仕組みの創出

例) 経年的に地域活動コンテンツを実施し、優れた地域の表彰を行うことで、モチベーションの維持を図る 等

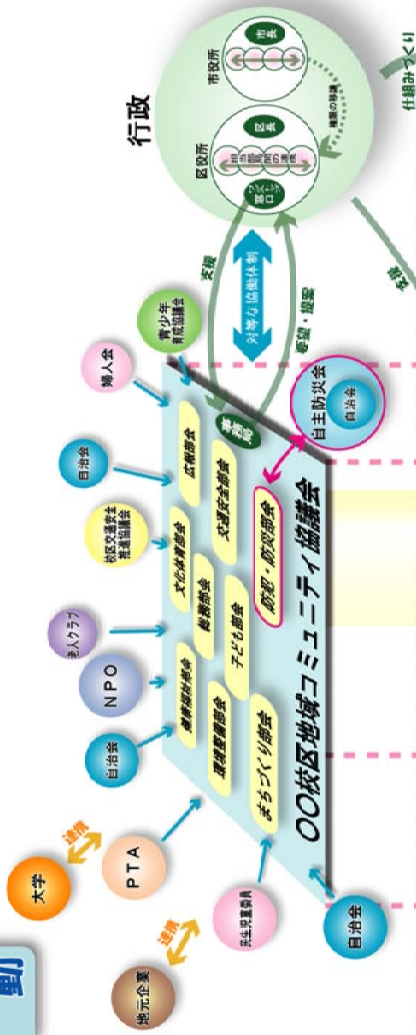
◆資金調達等の取組み

地域活動の円滑化や持続可能な地域運営を図るために、必要となる物資や資金を、地域自らが調達できるようにするために必要な仕組みの創出

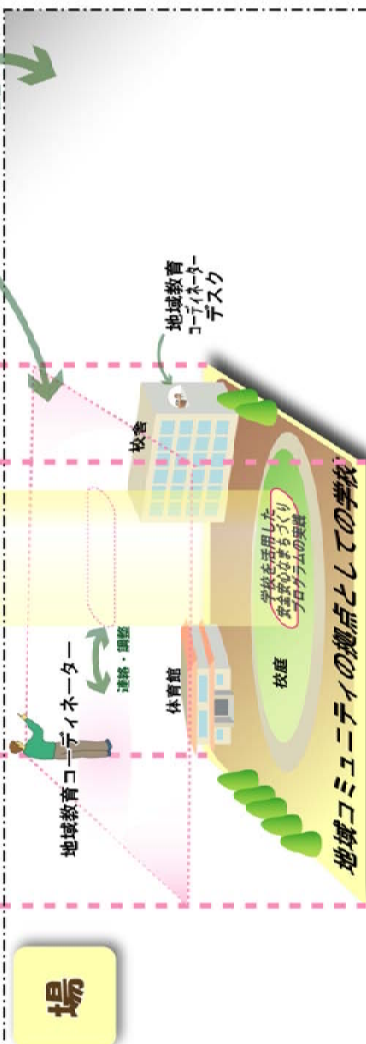
例) 地域内清掃活動を地域団体が受託するなど、地域活動と連動した資金調達スキームの確立 等

【新潟市における提案モデルイメージ】

活動



場



【従来から学校の有する役割】

- 教育の場
- 学校教育課程（原簿、生徒）
- 高齢者の生涯学習
- 子育て教育、支援
- 防災活動の場
- 空閒や遊材
- 教員、体育館、校庭などの広い空間
- 教員、体育館、校庭などの広い空間
- 備蓄物資やプール等の貯留水
- 緊急物資や資機材の備蓄機能
- 応急物資等の輸送拠点機能
- ボランティア活動拠点機能
- 防災訓練の実施場所機能
- 地域活動の場
- 地域運動会の開催
- 文化祭の開催
- スポーツクラブの活動
- 各種サークル活動

【従来から学校が有する資源】

- 人材
- 子ども（児童や生徒）
- 保護者とそのつながり
- 教職員
- 空間や遊材
- 教員、体育館、校庭などの広い空間
- 備蓄物資やプール等の貯留水
- 緊急物資や資機材の備蓄機能
- 情報資源
- 無線や専用回線などの通信機器
- 掲示板
- インターネット等の通信環境

【地域と学校パートナーシップ事業で強化された役割】

- 学校ごとの推進会議、地域コミュニティや公民館等との連携強化
- 授業補助、参加、クラブ活動における地域人材の参画と協働
- 放課後学習教室、真言など
- 体験活動
- 校外学習引率、環境整備
- 学校における学びの拠点づくり
- 家庭教室を利用した食育
- ふれあい給食ランチ
- 地域探訪
- おやじの会設立
- 学校の教育を地域へ発信

地域と学校パートナーシップ事業により開かれた学校